

舞鶴から希望の京都をつくろう！ ～地域力の創造と市民の幸せを目指す～

京都府議会議員

池田まさよし通信

発行：池田まさよし事務所

【第18号】

〒624-0853 舞鶴市南田辺71番地1 TEL:0773-77-1722 FAX:0773-77-1723 ホームページ <http://www.ikedakai.net>

紅葉が綺麗な季節となりましたが、如何お過ごしでしょうか。九月定例会は、本会議の代表質問を九月十四日と十五日、府議会や府政への関心を高めていただくことや、大規模災害時の行政機能が停滞しないようにする訓練の一環として舞鶴市の総合文化会館で開催され、二日間で三百六十七人の傍聴者にご来場いただきました。私は十四日に自民党議員団を代表して代表質問に登壇し、府北部の課題や北陸新幹線舞鶴ルート選定などについて質問させていただきました。初めましての北部開催でしたが、議会としても貴重な経験となり、今後、府南部でも開催される予定です。

さて、一次補正予算として、伝統産業の設備投資に対する支援や障害者スポーツ振興など、共生社会を実現する取り組み、子育て・高齢者の安心・安全のための施策など一般会計予算総額十三億四千四百万円とな



京都府議会議員

池田正義



るもの。二次補正予算として安心・安全緊急経済対策として由良川や桂川、鴨川等の河川改修や、ため池の決壊防止など総合的な治水対策実施するほか、民間社会福祉施設等における防犯対策、原子力災害時の避難対策の充実を行うこと。また、地域緊急経済対策として中小企業に焦点をあて、国の補正予算の活用も含めた経営支援や設備投資支援、地元産品の販路拡大と消費喚起のため「京都ほんまもん祭り」の開催、陶磁器等の工芸産地に対する生産基盤整備、増加が見込まれるクルーズ船乗船受入れ環境充実等の観光対策、生活・交通基盤整備。女性の働きやすい環境づくりや潜在保育士等の就業支援の強化、放課後学び教室の充実など一般会計予算百八十四億三千七百万円、特別会計予算十八億二千七百万円の追加補正を審議し、可決したものであります。



8月7日 ふるさと海づくり大会 稚魚の放流



8月13日 朝来地区夏まつり



9月19日 南舞鶴地区敬老会にて



9月22日 まいづる魚まつり



10月4日 飛鳥Ⅱ 入港歓迎行事

2016年 8月~10月 池田まさよし 活動報告



8月25日 北陸新幹線誘致活動



9月30日 山田知事に要望書提出



10月26日 山陰新幹線の早期実現と北陸新幹線の京都北部ルート、京都南部ルートの決定を求める総決起大会



9月6日 タイ 学校長と



10月19日 舞鶴保育まつり



10月30日 府P舞鶴大会

平成28年度 9月補正予算の概要

(その1) 総額 13億4,400万円

第1次緊急経済対策

◇織物産地創生支援事業費..... 3,800万円

共生社会の実現

◇障害者スポーツ振興事業費..... 1,700万円

◇特別支援教育振興事業費..... 2億4,200万円

安心・安全の充実

◇子育てあんしん特別強化費... 2億2,400万円

◇特別養護老人ホーム整備事業費... 2億4,800万円

◇府民防災力強化事業費..... 5億1,000万円

地域再生の加速化

◇「お茶の京都博(仮称)発信力アップ事業費5,000万円

◇未来を拓く「文化創生」事業費..... 1,500万円

(その2) 総額 184億3,700万円

第2次緊急経済対策

◇総合治水緊急事業費..... 71億9,000万円

◇社会福祉施設等安全対策事業費... 1億7,800万円

◇医療施設等防火対策推進費... 6,200万円

◇私立学校施設等耐震強化事業費..... 1億7,400万円

◇まちづくり一体型西院駅整備促進事業費... 1億円

◇共生社会実現事業費..... 9億3,000万円

◇原子力災害対策施設等整備事業費..... 6億9,600万円

◇中小企業緊急経済対策事業費... 2億200万円

◇農業生産強化緊急対策事業費... 18億4,000万円

◇農林水産強化緊急対策事業費... 29億700万円

◇茶業研究所機能強化事業費..... 6,200万円

◇生活・交通基盤緊急整備事業費 46億5,400万円

◇京都舞鶴港ゲートウェイ機能強化事業費(一部再掲)..... 4億3,000万円

◇「丹後王国」食と文化・観光交流拠点整備費..... 3,000万円

◇京都やましろ茶いぐるライン整備費..... 2億円

働く環境づくり対策

◇女性の働く環境づくり支援事業費... 2,000万円

◇保育人材活躍サポート事業費... 2億9,700万円

池田まさよし事務所 ご案内

西事務所 (舞鶴市南田辺71番地1)



TEL(0773) 77-1722 FAX(0773) 77-1723

東事務所 (舞鶴市森本町29-5)



TEL(0773) 77-5670 FAX(0773) 77-5671

メール m.ikeda@kyotofugikai.jp

北陸新幹線敦賀・大阪間の調査結果報告に関する知事コメント

本日、北陸新幹線敦賀・大阪間の調査結果が、国土交通省から与党PTに報告されました。

この調査結果の中には、経済効率性も含まれておりますが、新幹線のルート選定は、日本の将来を見据えて行われるものであり、北陸新幹線敦賀・大阪間については、国家戦略としての日本海側国土軸の必要性を踏まえてルートを決すべきものであります。現状を前提とした費用対効果のみで確定すべきものではないと考えております。

従って、京都府としては、引き続き、従来から御説明しているとおり、これからの日本海側の発展を最大限引き出す、地方創生回廊としての日本海側国土軸の形成の重要性等をしっかりと説明して参る所存です。

平成28年11月11日 京都府知事 山田 啓二

いつでもお気軽にお立ち寄りください。市民の皆様からのご意見・ご質問も受け付けております。

九月定例会 代表質問に登壇！ 舞鶴市総合文化会館にて

日本海側国土軸の形成について、京都舞鶴港の役割は！

北陸新幹線舞鶴ルートの実現を！

【質問】 外国貿易のコンテナ貨物の十年間の伸び率をみると、京都舞鶴港が50・9%も増やしている。国内外の貿易港として機能を遺憾なく発揮し、北部地域に一大物流拠点を形成し、地域産業の振興に繋がるような取り組みを期待するが、京都舞鶴港の果たすべき役割についてどのように考えているのか。

個の取扱量ですけど、北部地域などの荷主が約六割を占めており、より広域からの集荷が必要で、国際埠頭には日本通運の物流拠点が、喜多埠頭には食品加工場が立地していますけれども、綾部や福知山をはじめとして、物流拠点として関連企業の立地を進めています。また、京阪神や中部圏など、広域の貨物を集めるポートセールスも強化し、新規航路の開設に向け、今、船会社等に働きかけをしています。

【質問】 北陸新幹線舞鶴ルートの特徴は、新大阪から舞鶴までの約百十kmは山陰新幹線の共用区間とするところである。日本海側を西に延びる北陸新幹線の役割とは、単に北陸から大阪を繋げば良いというのではなく、日本海側国土軸の形成に如何に寄与するかである。将来の山陰新幹線整備も考慮した上で、北陸新幹線京都北部ルート決定をどのようにして実現しようと考えているのか。

【山田知事】 環日本海側の物流や人流を考えれば、府北部地域は非常に重要であり、太平洋側が必ず大地震によつて大きな被害を受ける、このとき日本の人流をどう確保するかという点では日本海側国土軸の形成が必要であり、山陰新幹線を見据えたルートを選定すべきと訴えています。京都の利益だけでなく、日本の将来を見据えた観点から「山陰縦貫・高速鉄道網整備推進市町村会議」が、そして舞鶴ルートも「北陸新幹線京都北部ルート誘致促進同盟会」が国への働きかけを強めていただいています。現在、国において米原ルート、小

【山田知事】 京都舞鶴港は、日本第二位の経済圏を背後地に持ち、近畿唯一日本海側の拠点港として重要港湾に指定されるなど、世界に開かれた玄関口です。急激に成長する対岸諸国との交流による経済の活性化や、フェリー、クルーズ船による観光の玄関口、さらに舞鶴火力からバイオマス、LNGまでのエネルギー基地など、大交流の時代の「人」「物」「エネルギー」の拠点として、北部にとどまらず、京都を、関西を牽引する港であります。貿易の柱は、コンテナとフェリーとバルクです。六年連続で取扱貨物量は一千万トンを超えるなど順調に推移しています。コンテナは、一昨年、過去最高の九千



多数のクルーズ船入港がきまる京都舞鶴港

【山田知事】 シカが非常に増えていること、また、サルが生活環境に入ってくるということで、鳥獣被害が農作物被害以外の面でも増えています。そのため、メスジカの捕獲単価の引き上げ、補助対象頭数の上限数も増加させるなど、捕獲を強化します。イノシシについては、電気柵や捕獲オリとの併用など出来る限り被害を拡大しない方法を採用します。サルについては、人家周辺に出没する場合は、今年初めて麻酔銃で捕獲する形にしました。本年度は、新しい特定鳥獣保護管理計画の改定の年であり、現在、専門家会議で新しい計画の策定を進めており、シカについては、



京都北部・南部ルート早期実現を求める要望書提出

港湾関連部門の府庁機能移転を舞鶴へ

有害鳥獣被害の低減を！

【質問】 府庁機能の一部移転を検討していると明らかにされた。九月七日の研究会では、移転対象機能について、港湾関連部門が比較的課題が少なく、メリットが大きいといった意見集約が行われていますが、海外との貿易振興等も踏まえたものにするべきと考えますが、今後どのように検討を進めるのか、研究会における検討状況と併せ、伺います。

【山田知事】 研究会では、交通基盤の進展やICTの普及により、移転の制約は縮小している、そして、政策立案を行う本庁組織が現場に移転することにより、より地域の実情に即した効果的な分野を考えると、いうことで、特定の地域に事務が集中している組織を対象に検討すべきではないかという意見をいただいています。九月七日の研究会では、日本海側拠点港である京都舞鶴港を中心とする港湾関係の本庁機能の移転、これはほとんど舞鶴港の仕事をやっていますので、優先的に検討すべきとまとめられました。このとりまともを踏まえて、京都舞鶴港関係の業務を行っている組織の移転について検討を優先的に行います。ただ、貿易振興業務になると、外国企業の誘致・投資の促進ですとか、府内の中小企業が海外へ売り込んでいく際のサポートが主力の業務となっており、対象企業が多く京都市内にあることを考えますと、慎重な検討が必要と考えています。今後、関係者の皆様の意見もよく聞きながら、年内に具体的な案ができるように進めていきます。

【質問】 イノシシ、シカ、ニホンザルなどの農作物被害は依然として深刻な状況です。市町村とも連携の上、更に積極的な被害低減に取り組みべきと考えるがどうか。また、ツキノワグマの目撃が多く報告されている生息状況はどうか、捕獲及び殺処分の方を明確な被害が確認できない場合においても、出没の状況により早急な捕獲ができるよう対応する必要があると考えるがどうか。

【山田知事】 シカが非常に増えていること、また、サルが生活環境に入ってくるということで、鳥獣被害が農作物被害以外の面でも増えています。そのため、メスジカの捕獲単価の引き上げ、補助対象頭数の上限数も増加させるなど、捕獲を強化します。イノシシについては、電気柵や捕獲オリとの併用など出来る限り被害を拡大しない方法を採用します。サルについては、人家周辺に出没する場合は、今年初めて麻酔銃で捕獲する形にしました。本年度は、新しい特定鳥獣保護管理計画の改定の年であり、現在、専門家会議で新しい計画の策定を進めており、シカについては、

もっと捕獲していいこうではないか。イノシシについては、減少気味ですが、被害水準の高さから捕獲の効果的な方法を検討すべき。サルについては、加害レベルを判定し、また、悪い個体をしっかり判定して、捕獲を検討すること。ツキノワグマについては、平成二十六年の調査では丹波の個体群で大体二百頭と推計。丹後の個体群は、舞鶴の一部、福知山の北とそれ以上の北部では三百頭から七百頭へ増加し、二倍以上増加しているとの推計です。こうした点から、一回目から捕殺を可能とする形でかなり捕殺してしまして、今後、人命を第一に有害捕獲許可に努めます。



代表質問にて港湾部門舞鶴へ移転示される

【山田知事】 シカが非常に増えていること、また、サルが生活環境に入ってくるということで、鳥獣被害が農作物被害以外の面でも増えています。そのため、メスジカの捕獲単価の引き上げ、補助対象頭数の上限数も増加させるなど、捕獲を強化します。イノシシについては、電気柵や捕獲オリとの併用など出来る限り被害を拡大しない方法を採用します。サルについては、人家周辺に出没する場合は、今年初めて麻酔銃で捕獲する形にしました。本年度は、新しい特定鳥獣保護管理計画の改定の年であり、現在、専門家会議で新しい計画の策定を進めており、シカについては、



捕獲オリの設置